

2 章

- 4b 神である【主】(יהוה אלהים)が、地(אָרֶץ)と天(שָׁמַיִם)を造られた(עָשָׂה)ときのこと。
 5 地には(בְּאֶרֶץ)まだ(טֹרֵם)、野(הַשָּׂדֶה)の灌木(שִׁיחַ)もなく、野の草(כָּל־עֵשֶׂב)も生えて(צָמַח)いなかった。神である【主】が、地の上に(עַל־הָאָרֶץ)雨を降らせて(מָטַר)いなかったから(כִּי)である。また、大地(הָאֲדָמָה)を耕す(עָבַד)人(עֲבָד)もまだいなかった(אֵין)。
 6 ただ、豊かな水(מַיִם)が地から湧き上がり(עָלָה)、大地の全面(כָּל־פְּנֵי־הָאֲדָמָה)を潤していた(שָׁקַח)。

- 7 神である【主】は、その大地のちり(עָפָר)で人を形造り(יָצַר)、その鼻に(בְּאַפָּיו)いのちの息(נְשֵׁמַת חַיִּים)を吹き込まれた(נָפַח)。それで人(הָאָדָם)は生きるもの(נֶפֶשׁ חַיָּה)となった。
 8 神である【主】は東の方(מִקְדָּם)のエデンに園を(גֶּן־עֵדֶן)設け(בָּטַע)、そこに(שָׁם)ご自分が形造った(יָצַר יֶשֶׁר)人を置かれた(שָׂם)。
 9 神である【主】は、その土地に、見るからに(לְמַרְאֵה)好ましく(נִחְמָד)、食べるのに(לְמֵאֱכֹל)良いすべての木を、そして、園の中央に(בְּתוֹךְ הַגֶּן)いのちの木(עֵץ הַחַיִּים)を、また善悪(טוֹב וְרָע)の知識の木(עֵץ הַדַּעַת)を生えさせた(צָמַח)。

- 10 一つの川(נָהָר)がエデンから(מִעֵדֶן)湧き出て(יָצָא)、園を潤していた(שָׁקַח)。それは園から(※原文では「そこから」)מִשָּׁם)分かれて(פָּרַד)、四つの源流(רְאשֵׁי־נְאֻמִּים = רְאשֵׁי)となっていた。
 11 第一のものの名(שֵׁם הָאֲדָם)はピション(פִּישׁוֹן)。それはハビラ(הַחֲוִילָה)の全土(כָּל־אֶרֶץ)を巡って流れていた(הִסּוּבָב)。そこには金(זָהָב)があった。
 12 その地の金は良質(טוֹב)で、そこにはベドドラハとシヨハム石もあった。
 13 第二の川の名(שֵׁם הַנְּהָר הַשֵּׁנִי)はギホン(גִּיחוֹן)。それはクシュ(כּוּשׁ)の全土を巡って流れていた(הִסּוּבָב)。
 14 第三の川の名(שֵׁם הַנְּהָר הַשְּׁלִישִׁי)はティグリス(חֲדָקִל)。
 それはアッシュルの東(קִדְמַת אַשּׁוּר)を流れていた(הִלְךְ)。
 第四の川(הַנְּהָר הָרְרִיעִי)、それはユーフラテス(פָּרַת)である。

- 15 神である【主】は人(אָדָם)を連れて来て(לָקַח)、エデンの園に(בְּגֶן־עֵדֶן)置き(נָוַח)、そこを耕させ(עָבַד)、また守らせた(שָׁמַר)。
- 16 神である【主】は人に命じられた(צִוָּה)。「あなたは園のどの木からでも(מִכָּל־עֵץ־הַגֶּן)思いのまま食べてよい(אָכַל־תֵּאָכֵל)。
- 17 しかし、善悪の知識の木からは(מִעֵץ־הַדַּעַת־טוֹב־וָרָע)、食べてはならない(לֹא־תֹאכַל־מִמֶּנּוּ)。その木から(מִמֶּנּוּ)食べるとき(בְּיוֹם)、あなたは必ず死ぬ(מוֹת־תָּמוּת)。」
- 18 また、神である【主】は言われた。「人がひとり(בֶּד)でいるのは良くない(לֹא־טוֹב)。
わたしは人のために、ふさわしい助け手(עֹזֵר־כְּנֶגְדּוֹ)を造ろう(עָשָׂה)。」
- 19 神である【主】は、その土地の土で(מִרְהָאֲדָמָה)、あらゆる野の獣(פְּלִיחַיִת־הַשָּׂדֶה)とあらゆる空の鳥(פְּלִיעוֹף־הַשָּׁמַיִם)を形造って(יָצַר)、人のところに連れて来られた(בּוֹא)。人がそれを何と呼ぶか(מַה־יִקְרָאֵלוּ)をご覧になるためであった。人がそれを呼ぶと、何であれ、それがその生き物(חַיָּה)の名(שֵׁם)となった。
- 20 人はすべての家畜、空の鳥、すべての野の獣に名をつけた(קָרָא שֵׁם)。しかし、アダムには、ふさわしい助け手(עֹזֵר־כְּנֶגְדּוֹ)が見つからなかった(לֹא־מָצָא)。
- 21 神である【主】は、深い眠り(תַּרְדֵּמָה)を人に下された(נָפַל)。それで、人は眠った(יָשָׁן)。主は彼のあばら骨(צִלְע)の一つを取り(לָקַח)、そのところを肉(בָּשָׂר־תַּחְתָּנָה)でふさがれた(סָגַר)。
- 22 神である【主】は、人から取った(לָקַח)あばら骨(צִלְע)を一人の女(אִשָּׁה)に造り上げ(בָּנָה)、人のところに(אֶל־הָאָדָם)連れて来られた(בּוֹא)。
- 23 人は言った。「これこそ、ついに(הַפֶּעַם)私の骨からの骨(עֲצָם)、私の肉からの肉(בָּשָׂר)。
これを女(אִשָּׁה)と名づけよう。男(אִישׁ)から取られた(לָקַח)のだから。」
- 24 それゆえ(עַל־כֵּן)、男は父(אָב)と母(אִם)を離れ(עָזַב)、その妻(אִשָּׁה)と結ばれ(דָּבַק)、ふたりは一体(אֶחָד)となるのである。
- 25 そのとき、人とその妻はふたりとも(שְׁנֵיהֶם)裸(עָרוֹם)であったが、恥ずかしい(בוּשׁ)とは思わなかった。